

公開シンポジウム「微生物を知る」

1. 主 催 日本学術会議 基礎生物学委員会・農学基礎委員会・生産農学委員会・
基礎医学委員会・臨床医学委員会合同 I UMS 分科会
日本学術会議 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・農学基礎委員会
合同総合微生物科学分科会
2. 後 援 日本微生物学連盟
3. 日 時 平成19年9月25日(火) 13:00~17:30
4. 場 所 日本学術会議講堂
5. 次 第

開催趣旨

人類は微生物を友として生きている。良い友もいれば悪い友もいるが、知れば知るほどより良い友となる。また膨大な種類の微生物の内、我々人類が認知しているのはほんの一部に過ぎない。したがって、微生物研究には大きな夢がある。その夢に向かって日本微生物学連盟が設立された。これを契機とし、当分科会と連携を図り、広く微生物への理解を深めるため、本シンポジウムを開催することとした。

開会挨拶：野本明男（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員、
日本学術会議 I UMS 分科会・総合微生物科学分科会委員長）

司 会：春日文字（国立医薬品食品衛生研究所室長、日本学術会議会員、
日本学術会議 I UMS 分科会・総合微生物科学分科会副委員長）

I 講 演（13:10~17:00）

- 1) 河岡義裕（東京大学医科学研究所教授、日本学術会議連携会員）
「パンデミック・インフルエンザ –過去と未来–」
- 2) 荒川宜親（国立感染症研究所部長）
「薬剤耐性遺伝子の水平伝播と新型耐性菌の出現」
- 3) 堀井俊宏（大阪大学微生物病研究所教授、日本学術会議連携会員
日本学術会議総合微生物科学分科会委員）
「SE36 マラリアワクチンの開発」
- 4) 高松 進（三重大学大学院生物資源学研究科教授）
「植物寄生菌類の系統と進化」
- 5) 渡邊 信（筑波大学大学院生命環境科学研究科教授）
「炭化水素産生微生物による地球温暖化対策技術」
- 6) 富田房男（放送大学教授、北海道大学名誉教授、日本学術会議連携会員
日本学術会議 I UMS 分科会・総合微生物科学分科会委員）
「微生物バイオテクノロジーの将来像」

7) 辨野義己 (理化学研究所バイオリソースセンター微生物材料開発室室長)
「微生物資源をめぐる微生物保存機関の役割」

II 総合討論とまとめ (17:00 ~ 17:30)

篠田純男 (岡山理科大学教授、日本学術会議連携会員、
日本学術会議 IUMS 分科会・総合微生物科学分科会委員)

閉会挨拶: 野本明男 (東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員、
日本学術会議 IUMS 分科会・総合微生物科学分科会委員長)

参加申込方法

E-mailもしくはFaxにて必要事項(氏名、所属、連絡先電話番号、E-mailアドレス)を
ご記入の上、以下の問い合わせ先担当宛、お申し込みください。

東京大学大学院医学系研究科微生物学講座(担当:鈴木悦子)

E-mail: e-suzuki@m.u-tokyo.ac.jp Fax: 03-5841-3374

*定員(300名)となり次第、締め切りとさせていただきます。